

— 「傷病に関する意見」 記載欄について —

① 傷病の経過への記載が250文字以内かつ
薬剤名が6項目以内(従来通り)の場合

印字方法は従来通りです

- 1行 50文字迄、12ポイント
- 薬剤名は1行に2項目

入力した通りに印字されます(注
(必要の場合は改行や句読点の
位置等の調整をしてください)。

注: Mac の場合は、画面サイズによって異なる
場合があります

一行に 50 文字まで入力できます(注)

1. 傷病に関する意見 (続き)
障害の直接の原因となっている傷病の経過及び投薬内容を含む治療内容

傷病または特定疾病の経過
平成6年ごろより歩行障害が出現。前屈姿勢や突進現象があった。平成10年6月に当院を受診。安静時に手指振戦、前屈縮、姿勢反射障害があり、進行性であるが投薬にて、手指振戦は軽快、前屈縮もやわらかくなっている。嚥下障害、妄想や幻覚症状はない。介助があれば外出できるが、筋力低下のため歩行を保持し上げられない。妻が介助しながらゆっくりとトイレ歩行は可能。症状には日内変動があり、トイレに間に合わないこともある。

薬剤名	用量	用法
1. ネメシット(100mg)	1錠	
2. パーロデル(2.5mg)	5錠	
3.		
4.		
5.		
6.		
7.		
8.		

傷病または特定疾病の経過
(3) 生活機能低下の直接の原因となっている傷病または特定疾病の経過及び投薬内容を含む治療内容
平成6年ごろより歩行障害が出現。前屈姿勢や突進現象があった。平成10年6月に当院を受診。安静時に手指振戦、前屈縮、姿勢反射障害があり、進行性であるが投薬にて、手指振戦は軽快、前屈縮もやわらかくなっている。嚥下障害、妄想や幻覚症状はない。介助があれば外出できるが、筋力低下のため歩行を保持し上げられない。妻が介助しながらゆっくりとトイレ歩行は可能。症状には日内変動があり、トイレに間に合わないこともある。

ネメシット(100mg) 1錠 パーロデル(2.5mg) 5錠

② 傷病の経過への記載が250文字以上かつ
薬剤名が6項目以上の場合

印字方法は以下の通りです

- 傷病の経過+薬剤: 10行以下
1行 50文字迄、12ポイント
- 傷病の経過+薬剤: 11行
1行 50文字迄、11ポイント
- 薬剤項目は項目ごとに一文字
あけた状態で羅列されます

傷病の経過と薬剤名のトータル 550文字または
11行まで入力可能です。

(半角を含む場合は560文字まで可能)
→投薬がない場合は、傷病の経過のみで550
文字まで記載が可能です(半角含560文字)

訪問看護指示書へのデータ引継ぎ

主治医意見書の情報を訪問看護指
示書に引き継いだ場合、そのまま
情報は引き継がれ編集も可能です。
ただし、帳票への印字は250文字
または5行までの印字となります。
(薬剤は8項目まで印字可能)

1. 傷病に関する意見 (続き)
障害の直接の原因となっている傷病の経過及び投薬内容を含む治療内容

傷病または特定疾病の経過
昭和11年ごろより高血圧症、高脂血症で当院通院中。平成8年ごろより変形性膝関節症、坐骨神経痛等で近医整形外科にて断続的な加療を受けていたが、普通に生活していた。6月に妻と離婚。1年間に食欲不振や体重減少があり、新築の訴えが多くなり、市立病院にて上・下消化管等性差行も著名な所見なし。9月中旬頃自宅の階段で転倒し打撲後、腰痛や下腿痛の悪化もあり、外出をしなくなり、最近では自宅で寝たがりやの生活をしている。トイレなどへの歩行や身の回りのことは可能。通院はタクシー。下腿の軽度筋力低下や浮腫が生じ始めている。内科的な所見は安定している。近いうちに、人口膝関節置換術施行予定。手術後のリハビリが課題だが、歩行能力の維持、回復が期待できる。18年前頃から内科で降圧剤を服用している。食事は回復しているため一時的にADLの改善は期待できる。症状には日内変動があり、トイレに間に合わないこともある。足元は不安定なため娘が付き添い通院をしている。IAULに問題がある。

薬剤名	用量	用法
1. デイオパン(80mg)	1錠	
2. アムロジウム(2.5mg)	1錠	
3. メプロロン(5mg)	1錠	
4. ボルタレン		
5. ロキソニン		
6. ムコスタ		
7. カマダ1.0		
8. MSコンチン		

傷病または特定疾病の経過と薬剤名
(3) 生活機能低下の直接の原因となっている傷病または特定疾病の経過及び投薬内容を含む治療内容
昭和11年ごろより高血圧症、高脂血症で当院通院中。平成8年ごろより変形性膝関節症、坐骨神経痛等で近医整形外科にて断続的な加療を受けていたが、普通に生活していた。6月に妻と離婚。1年間に食欲不振や体重減少があり、新築の訴えが多くなり、市立病院にて上・下消化管等性差行も著名な所見なし。9月中旬頃自宅の階段で転倒し打撲後、腰痛や下腿痛の悪化もあり、外出をしなくなり、最近では自宅で寝たがりやの生活をしている。トイレなどへの歩行や身の回りのことは可能。通院はタクシー。下腿の軽度筋力低下や浮腫が生じ始めている。内科的な所見は安定している。近いうちに、人口膝関節置換術施行予定。手術後のリハビリが課題だが、歩行能力の維持、回復が期待できる。18年前頃から内科で降圧剤を服用している。食事は回復しているため一時的にADLの改善は期待できる。症状には日内変動があり、トイレに間に合わないこともある。足元は不安定なため娘が付き添い通院をしている。IAULに問題がある。

デイオパン(80mg) 1錠 アムロジウム(2.5mg) 1錠 メプロロン(5mg) 1錠 ボルタレン 3錠
ロキソニン錠 1錠 ムコスタ 3錠 カマダ1.0 MSコンチン

現在の状態 (続き)
障害の直接の原因となっている傷病の経過及び投薬内容を含む治療内容

傷病の経過
昭和11年ごろより高血圧症、高脂血症で当院通院中。平成8年ごろより変形性膝関節症、坐骨神経痛等で近医整形外科にて断続的な加療を受けていたが、普通に生活していた。6月に妻と離婚。1年間に食欲不振や体重減少があり、新築の訴えが多くなり、市立病院にて上・下消化管等性差行も著名な所見なし。9月中旬頃自宅の階段で転倒し打撲後、腰痛や下腿痛の悪化もあり、外出をしなくなり、最近では自宅で寝たがりやの生活をしている。トイレなどへの歩行や身の回りのことは可能。通院はタクシー。下腿の軽度筋力低下や浮腫が生じ始めている。内科的な所見は安定している。近いうちに、人口膝関節置換術施行予定。手術後のリハビリが課題だが、歩行能力の維持、回復が期待できる。18年前頃から内科で降圧剤を服用している。食事は回復しているため一時的にADLの改善は期待できる。症状には日内変動があり、トイレに間に合わないこともある。足元は不安定なため娘が付き添い通院をしている。IAULに問題がある。

薬剤名 1. デイオパン(80mg) 1錠 2. アムロジウム(2.5mg) 1錠
2. アムロジウム(2.5mg) 1錠 3. メプロロン(5mg) 1錠
3. メプロロン(5mg) 1錠 4. ボルタレン 3錠
4. ボルタレン 3錠 5. ロキソニン錠 1錠
5. ロキソニン錠 1錠 6. ムコスタ 3錠
6. ムコスタ 3錠 7. カマダ1.0
7. カマダ1.0 8. MSコンチン
8. MSコンチン

傷病の経過は250文字または5行